

学校名 熊谷市立江南中学校  
所在地 熊谷市江南中央2-1-1  
電話 048-536-1335



読み聞かせの様子

## 1 本校の概要

本校は創立53年目を迎えた。学校教育目標に「志高く 心豊かな生徒 自ら学ぶ生徒 たくましい生徒」の育成を掲げ、日々の教育活動を行っている。主に江南南小と江南北小の2つの小学校が母体校となり、今年度330名の生徒が在籍している。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

#### ①地域との連携

関係小学校2校と連携を図り、本校でも地域の読み聞かせボランティア「せせらぎの会」の方に、年間3回程度読み聞かせをしていただいている。

#### ②学校図書館の環境の工夫

生徒が興味・関心を持ちそうな本を考慮し、その本が見つけやすいよう配架を工夫している。さらに、何を讀んだらよいのかわからない生徒のために、選書しやすい環境を整えている。

### (2) 実践の概要

①7月、12月、3月に各1回ずつ、朝読書の時間を活用して、各学級ごとに読み聞かせをしていただいている。図書委員会の生徒が運営に携わり、読み聞かせの後には全員が感想を記入し、講師に渡している。

②委員会の生徒がお薦め本をまとめた掲示物や図書だよりを作成して掲示している。人気図書コーナーを設けたり、新刊図書を目立つように紹介するなど、読んでほしい本が生徒たちの目につきやすいように配慮している。また、新聞を毎日配架し、全校生徒の読書感想文や作文なども手にとって読めるようにしている。



## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

①読み聞かせの前後には、講師の方との交流を通して、地域の方の視点で貴重な意見をいただくことができた。また、小学生の時から顔見知りの講師の方と接し、挨拶を交わしたり、会話を楽しんだりする生徒が増えた。正しい姿勢で落ち着いて話を聞ける生徒が多くなり、ほぼすべての生徒が感想を素直に書き表わせた。

②今年度、図書館利用経験のある生徒は1年生が70.2%、2年生が25.3%、3年生が13%である。毎日、昼休みには平均30人以上の生徒が来館し、図書館を利用している。

### (2) 今後の課題

①読み聞かせの活動は、平成15年から始まった活動であり、これまでに28回行ってきた。昨年度から特別支援学級でも実施し、特別支援学級の生徒にとっても読書の楽しさを味わえる活動となった。実施方法は定着してきているので、さらに改善点はないかという視点を持ち、模索しながら今後の計画に生かしていきたいと考える。

②図書館でのマナー指導にも力を入れていきたいと考えている。